

第8回 いわみフレッシュ フェスティバル

～人権・健康・文化の祭典～

KOUMINKANDAYORI

公民館 だより

No.377



11月1日(土)～3日(月)
中央公民館を中心に第8回
いわみフレッシュフェスティ
バル「人権・健康・文化の祭典
」を開催しました。
期間中は天候にも恵まれ、
大勢の方が来場されました。
中央公民館では、園児、児童
の作品や町民の方々の作品が
展示されました。開催期間中
様々な講演があり、1日には
川上鳥取県農業会議会長が
「食」と「農」について講演
をされ、食が担う身体の健康
と同時に食を作る農業の大切
さをわかりやすく話されまし
た。次に馬場新温泉町長が惜
しくノミネットされません
でしたが、山陰海岸ジオパ
ークについて、登録の大切さ
について力説されました。2日
の午前中は文化講演会&女と
男のつどいで、弁護士三瀬
顕さんより「弁護士生活笑百
科」笑顔を語る人権・心豊
かに女と男と題して講演を
いただき、会場に入りきれな
いくらいの大勢の方が来られ
ました。人権についての確
わたりやすく、時折ユーモア
をまじえながらの楽しい講演
をしていただきました。午後
からは、芸能発表会があり、
14のプログラムに90人が出演

し、龍神太鼓、手話歌、詩吟、
踊り、カラオケなど日頃の練
習成果を力一杯発表しまし
た。3日午前中は、日中友好
の集いで中国の古典楽器であ
る二胡・古箏による演奏に聞
き惚れました。午後からは、
子ども読書フォーラムが開催
され、大勢の方が読書の大切
さを改めて感じました。

町民体育館では、健康管理・
介護予防の一環として、歯の
健康コーナーや、メタボリッ
クコーナーが設けられ、口
臭チェックや血圧・体脂肪測
定等が行われました。脂肪の
サンプルやたばこのタール模
型に健康への関心が更に深
まったようです。ボランティア
コーナーや子育て支援コー
ナー、フリーマーケットに環
境コーナー、商工会による新
企画「町内企業の紹介」など
盛りだくさんの内容でした。
テント村では、日赤奉仕団
による災害時用ご飯・豚汁、
岩美の特産品などが並べら
れ、うどん、そばをはじめ多
くの人の列ができ、全て完売
となりました。



岩美川柳会

天の句を指す気持ちに曇場
で
山田 たぬ
この天が落ちたらなんて心配す
な
北村 稔
さすが母家族の急所すばり当て
山下 節子
共犯者互いの急所一つ持ち
小西 幸安

台風が急所はずれた秋祭り

羽津川公乃

カーチャンの急所毎日按摩する

山下 蟹朗

じっくりと読めば笑えぬ漫画本

石谷美恵子

親のことじっくり想う年になる

飯野 菖子

じっくりと煮込んだ鍋による笑

岡本 幸枝

幸せをじっくりするうまいお

茶 田口 清帆

漢方薬じっくり煮込み鶴を折る

石谷 忠良

松かさ短歌会

まだ咲ける力あるよと朝顔は低
く一輪大きく開く

横山 芳子

退院して夜更けの庭に鈴虫の澄
みたる声は心にしみる

井筒三重子